

選考委員会の意見を踏まえた総評

- 本公募には、予想を上回る計 66 団体からの応募があり、優れた取組や野心的な事業計画を掲げる等、熱意ある団体が数多く見られ、地域循環共生圏への関心と意識の高まりを感じた。
- 地域循環共生圏の創造とその普及のためには、特色のある地域資源や固有の課題を抱えた地域が参考とできるよう、バラエティーに富んだ取組事例が必要である。
- このため、より間口を広げる必要があることから、予算の範囲内で選定する団体数を 35 まで増やすこととし、応募内容を精査したうえ選定した。
- 一方、支援チームの派遣については当初より団体数を絞り、確実な成功事例を形成することとする。
- 今回の選定は、将来性に重点をおいたものであり、選定団体はこれをスタートとして、本事業を通じて地域主体の統合的な地域循環共生圏の構想策定と具体的な事業化に努めること。
- 現時点の事業計画で不十分な点は、各団体と十分に議論を行い、事業を通して是正を図っていくべきである。
- 自走可能な取組とするためには、ビジネスの視点や資金の循環が必須であるため、地域金融機関や各種業界団体など「基幹的ステークホルダー」として巻き込んでいく必要がある。

以上